

第 6 学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 社会の一員として
- 2 内容項目 C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
- 3 資料名 北海道の農業（東京書籍「道徳6 明日をめざして（北海道版）」）
- 4 ねらい（視点） 中学校進学を目前に控えたこの時期に、学年学級という集団から視野を広げ、社会へ目を向けることが大切であると考え、本主題を設定した。本時では、主人公翔太が自然な気持ちで手を合わせた場面を中心に考えていく。子どもたちが、太助じいちゃんのお気持ちに共感した上で翔太の思いを考えることで、自分も伝統を大切にしていこうと考えた翔太のお気持ちに気付いていくことができると考えている。

5 本時の展開

時	主な学習内容・活動	評価・留意点
1	<p>○写真を見ての印象を発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お坊さんがいる ・お葬式かな ・お祈りかな ・外だからお葬式では… ・観音様の写真だ ・馬頭観音という観音様なんだ <p>○資料を聞き、写真を見ながら内容を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リキが農業をしている ・薪を運んだり人を運んだりしている ・馬は大切な家族なんだ ・馬を大切にしていたんだ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 太助じいちゃんが 40 年以上経った今でも手を合わせているのは？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・馬への感謝 ・馬たちのことを忘れない ・それだけ大切な存在だったんだ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 翔太はどんな思いで手を合わせたんだろう。 </div> <div style="margin: 5px 0;"> </div> <p>○本時の振り返りを書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人々が手を合わせていることや馬頭観音を取り上げることで、資料への興味を引き出す。 ・40 年以上も感謝の気持ちを忘れない太助じいちゃんの行動に共感することが出来るよう、当時の人々がいかに馬を大切にしていたかを、写真と共に確認する。 ・道徳ノートに書く活動を取り入れることで、一人一人が自分の考えをもてるようにする。必要に応じて、グループで話し合う時間を設定する。 ・翔太が太助じいちゃんのお気持ちを理解したことや農業の発展に尽くした人々の思いを押さえる。翔太自身も感謝し、伝統を大切にしたいと感じたことを引き出す。 ・無理に「自分事」とは返さず、率直な感想を根拠をもって道徳ノートに書き込む活動にすることで、児童の本音を引き出す。